

デザイン：谷内 悦子



● 幹旋作品写真

＜使用糸＞「エアユーカリ」細 (60-623) …185g (10玉)

＜使用道具＞ クロバーかぎ針「ペン-E」4/0号

＜できあがり寸法＞ 胸囲 90cm、着丈 50cm、背肩幅 34cm

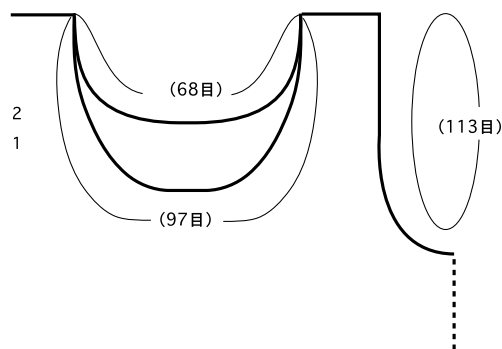
＜ゲージ＞ (10cm平方)

模様編みA 約1.4模様×10.5段

模様編みB 約1.4模様×13.5段

縁編み 細編み2段

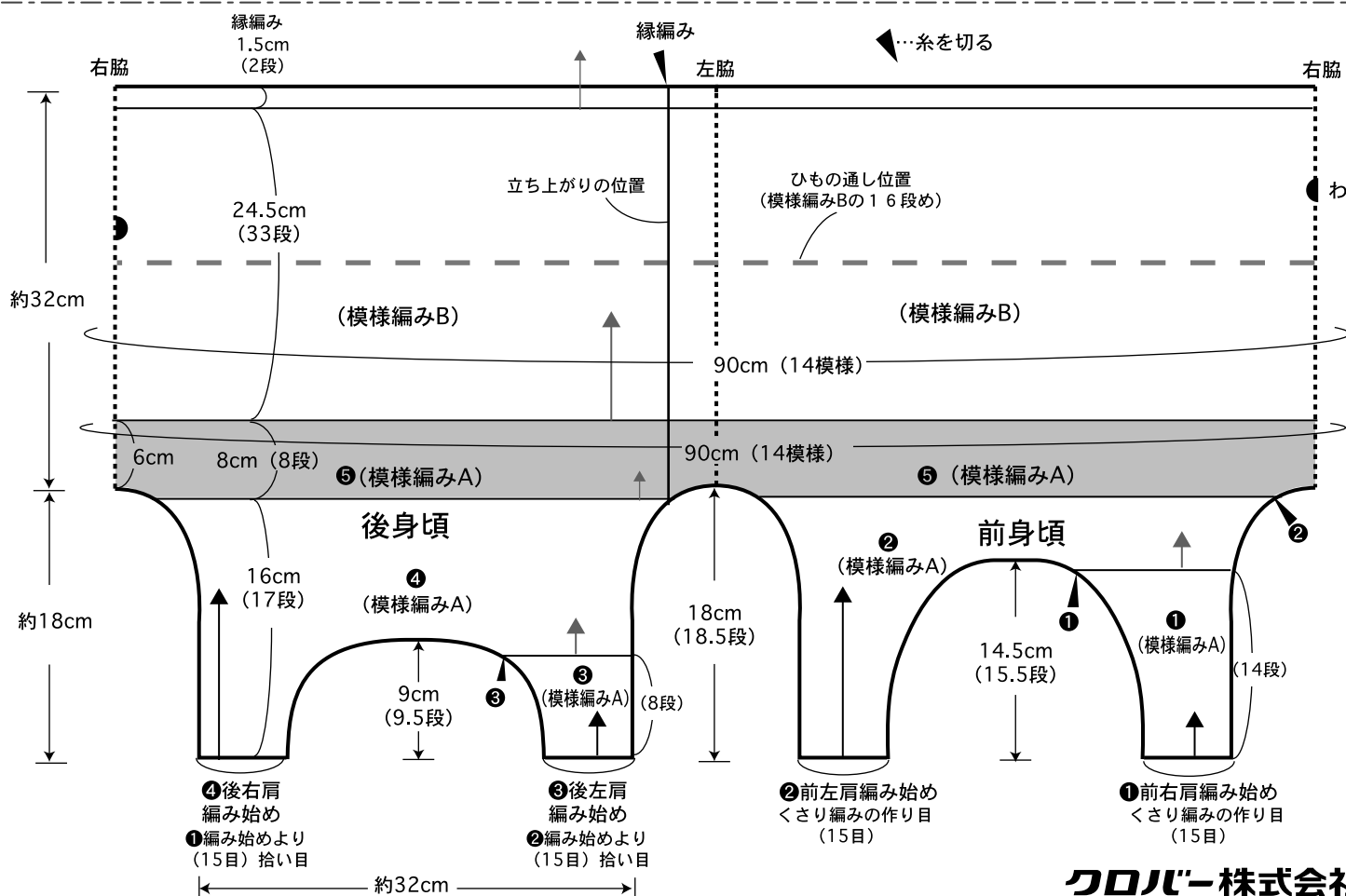
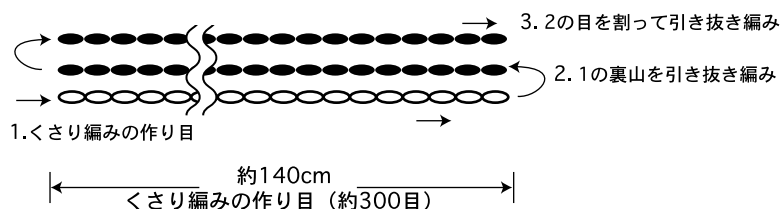
XXXXXX ← 2
XXXXXX ← 1



＜作り方＞

- ・模様編みAの部分は模様編み図の(1)~(8)を参考に編みます。
- ・模様編みB (パイナップル編み) の部分は模様編み図のように前後身頃続けて33段まで編みます。
- ・模様編みBの続きに34段35段の縁編みを編みます。縁編みですが広がった状態になります。
- ・前後衿ぐりと袖ぐりの縁編み (細編み2段) を編みます。
- ・ひもを編んで模様編み図の位置に通し、前中央で結びます。

ひもの編み方



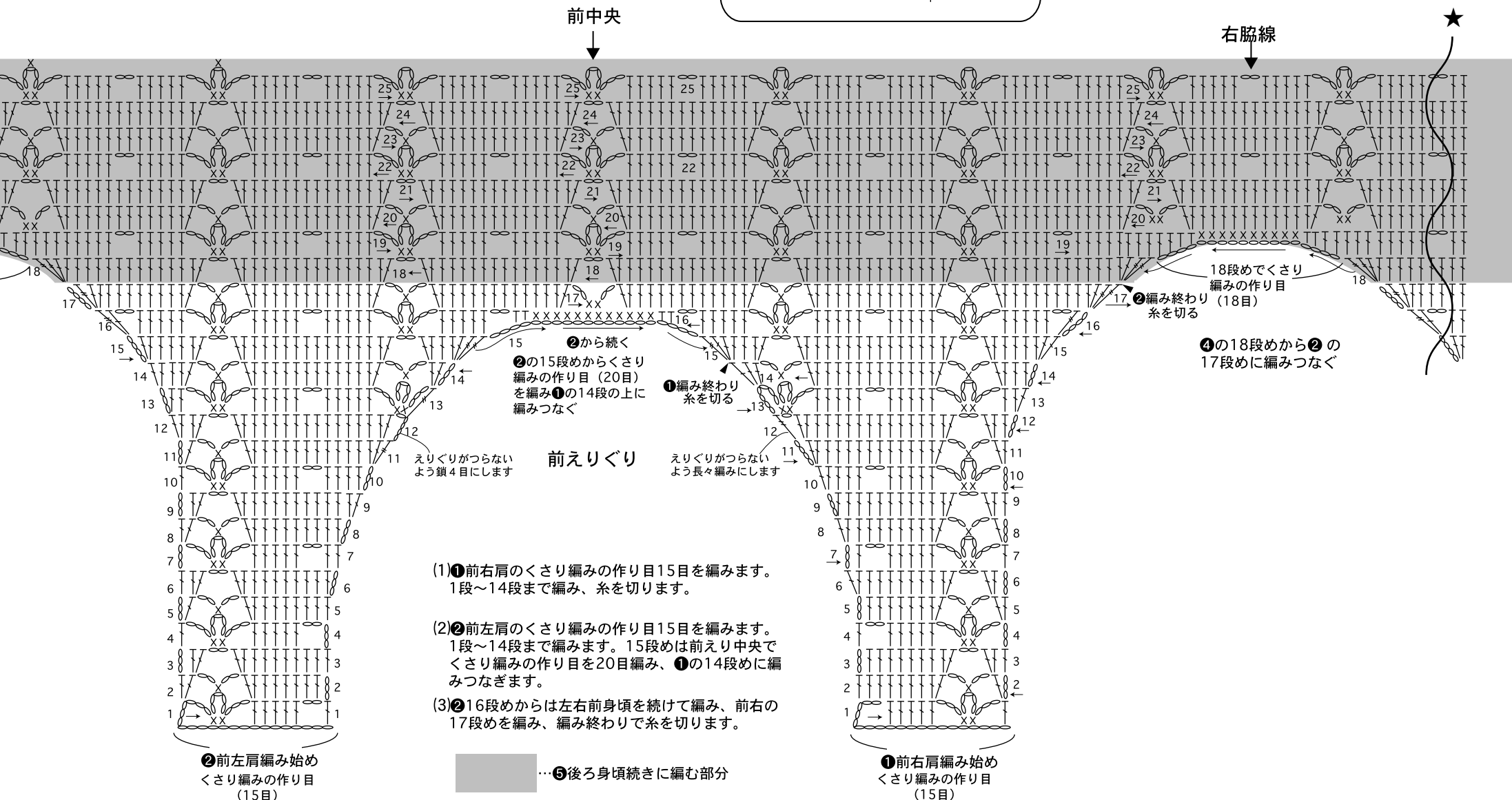
前身頃 (模様編みA)

＜編み目記号（かぎ針編み）＞

- …くさり編み
- …引き抜き編み
- X…細編み
- ┘…中長編み
- ┘…長編み

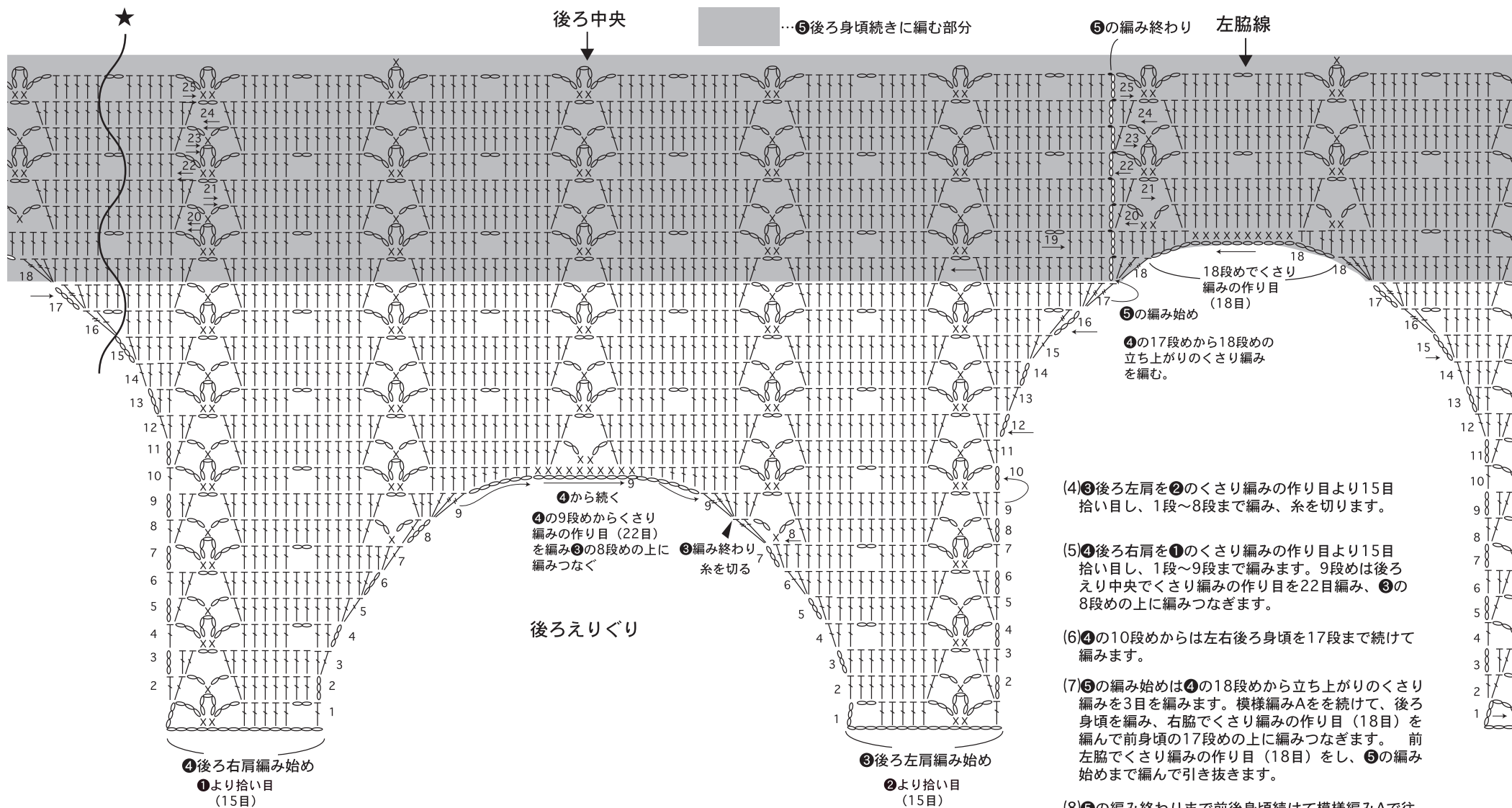
前中央

右脇線



- ①前右肩のくさり編みの作り目15目を編みます。
1段～14段まで編み、糸を切ります。
- ②前左肩のくさり編みの作り目15目を編みます。
1段～14段まで編みます。15段めは前えり中央でくさり編みの作り目を20目編み、①の14段めに編みつなぎます。
- ③②16段めからは左右前身頃を続けて編み、前右の17段めを編み、編み終わりで糸を切ります。

後身頃 (模様編みA)



前・後身頃 (模様編みB)

最初のくさり編みの目に
引き抜いて糸を切る

* 34段と35段は表側から縁編みをします

